

令和8年度 入学試験（社会人）問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和7年10月11日(土) 10時05分 ~ 10時50分

【注意事項】

- 試験問題の数は33問です。
- 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。解答用紙は下記の記入例をみて記入してください。
- 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。
なお、解答用紙には解答欄が50問までであるので、注意してください。34問以降にマークしても無効です。
- 試験問題にはすべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。
なお、2つ以上マークした場合は無効となります。

【解答用紙記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	7	月	10	日	11	国語
氏名	聖 灯 花 子							

〔受験番号記入例〕

番 号	問	解 答 欄	問	解 答 欄	問	解 答 欄
32001	1	① ② ③ ④ ⑤	11	① ② ③ ④ ⑤	21	① ② ③ ④ ⑤
	2	① ② ③ ④ ⑤	12	① ② ③ ④ ⑤	22	① ② ③ ④ ⑤
	3	① ② ③ ④ ⑤	13	① ② ③ ④ ⑤	23	① ② ③ ④ ⑤

※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

マーク例

良い例	悪い例
●	☑ ○ ●

令和八年度 入学試験（社会人）問題 「国語」

一次の文章を読んで、後の【1】～【11】の問いに答えなさい。なお、作問の都合上、一部省略し、また表記を改めています。

超高齢社会の中で、健康寿命がクローズアップされている。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間であり、2000年にWHO（世界保健機関）が提唱した指標だ。明治時代半ばに比べ、平均寿命が **A** に延びた今日、「長い老い」を生きる私たちにとって、健康寿命は大きなカギを握っている。

老化に伴って生じる身体機能、精神機能、社会的機能の低下をフレイルという。心身の全般的な衰えであり、健康障害の **ユウハツ** に結びつきかねない。健康寿命延伸にはフレイルへの対応が大きなポイントといえよう。

フレイルの類似概念に、ロコモ（ロコモティブシンドローム）がある。ロコモとは、フレイルの中で筋肉、骨、関節、神経などを動かすための「運動器」の衰えであり、立つ、座る、歩くなどの動作・移動の不自由さにつながる。さらに、筋力、筋量の衰弱をサルコペニアと呼んでいる。

ややこしいが、フレイルの中にロコモがあり、さらにロコモの中にサルコペニアがあるととらえれば、**B** 関係が理解しやすいだろう。

フレイルは、介護への恐れがあるものの自立生活が維持でき、健康な状態に戻ることが可能な段階である。予防に加えて、フレイルからの回復も強く求められている。

高齢期は心身機能の維持が重要であり、中年と高齢者の健康づくりは異なる。**C** フレイル予防の柱は、運動、栄養、社会参加だ。

まず、運動を取り上げたい――。厚生労働省は2024年1月、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」を公表した。ガイドによると、高齢者では歩行または歩行と同等以上の身体活動を1日40分以上（歩行換算で約6000歩以上）、週2～3日の筋カトレーニング（スクワット、かかとの上げ下げなど）を **スイショウ** している。

身体教育医学研究所の岡田真平所長は、「まず、生活の中で活動量を上げることが大切」と話し、こまめに体を動かすことの大切さを強調した。高齢者に向いている運動として、散歩、ウォーキング、マレットゴルフ、水中運動などを挙げ、「片脚立ちなどのバランス感覚を保つ運動も行うといい」と助言した。

老若男女ともに、過度な運動は逆効果だ。厚生労働省のガイドは、「個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む」こととしている。高齢者は、予備能（負荷がかかった時の対応力）が低下していることから、運動をする時には注意が必要だ。岡田所長は「持病がある人は、主治医に相談を」と語り、「無理をせず、長続きさせる、運動中の転倒に気をつける、水分補給を」とアドバイスした。

栄養に話を進めよう――。中年期はメタボ対策のために太りすぎないように心がけることが大切だが、高齢者では栄養不足への配慮が求められる。厚生労働省の「食べて元気にフレイル予防」は、「65歳を過ぎて病気でもないのにやせてきたら、メタボ予防からフレイル予防への切り替えどきかもしれません」と述べている。

主食、主菜、副菜のバランスを取り、しっかり食べたい。筋力低下を防ぐためにタンパク質不足に注意してほしい。ビタミンDは骨の健康だけでなく、筋肉増強にも関わっている。

身体の衰えは **出精** になり社会参加にブレーキを掛けるが、引きこもりにつながる心の不調や病も、ソーシャルフレイル（社会とのつながり喪失）の引き金になる。

高齢者の社会参加には、仕事に **タズサ** わる、ボランティア活動、趣味や学習活動、友人や隣人との交流などがある。だが、小泉典章・長野大学客員教授は、「**シユウロウ** や地域の役職、家事からの解放、子どもの独立、親しい人の死などの喪失体験は避けがたい。抑うつ的になりがちであり、うつ病を発症して引きこもりにつながるケースが目につく」と指摘する。さらに、「認知症とうつ病の症状は、紛らわしいことがある。治療法が異なるので、きちんとした鑑別判断が求められる」としている。

高齢者は孤独になりがちで、寂しさや不眠からアルコール依存症に陥るケースも多い。小泉客員教授は「アルコール依存症の治療は、かつては断酒しかなかったが飲酒の欲求を抑える断酒補助薬が登場した。認知行動療法と併用した減酒治療が可能になっている」として、適切な治療の大切さを訴えている。

感染症の逆襲ともいえる新型コロナウイルス感染症によって、発症を防ぐための免疫の力が改めてクローズアップされている。

年とともに免疫力は低下する。異物から体を守る免疫力を高めるにはどうしたらいいのだろうか。免疫に詳しい宮坂昌之・大阪大学名誉教授は、「血液やリンパの流れをよくしたい。ウォーキング、ストレッチ、ヨガ、マッサージなどで、筋肉をゆっくり動かして体温を少し上げると効果的だ。ぬるい湯に入ってゆっくり体を動かすのもいい」と話し、「なるべくストレスを減らすこともポイント」と、頑張りすぎないスローライフをススメた。

ところで、厚生労働省による2019年の健康寿命(21年12月発表)は、男性72・68歳、女性75・38歳。同年の平均寿命は、男性81・41歳、女性87・45歳なので、男性で8・73年、女性12・07年の「不健康の期間」が見られる。

だが、健康寿命は、データのとり方によって大きな違いがあることも事実なので説明しよう。

健康寿命について、厚生労働省と国民健康保険中央会の二つのデータを比べると、長野県の数字も全国順位も両者では大きく異なり、その落差に戸惑う。厚生労働省による2019年の順位は、長野県は男性72・55歳で30位。女性は74・99歳で37位だ。一方、国民健康保険中央会による同年のデータは、男性81・1歳、女性84・9歳で男女ともに1位だ。

なぜこのような大きな違いが生まれるのか――。小林良清・長野県佐久保健福祉事務所所長(公衆衛生学)は、「データ算出の方法の違いによる」と解説した。厚生労働省のデータは国民へのアンケートで、「健康上の問題による日常生活への影響がある」と回答した人の割合から算出する。一方の国民健康保険中央会は、介護保険の要介護2以上の認定を受けている人の割合から導き出しているとのことだ。

(途中略)

小林所長は「独りよがりになってはいけないが」と前置きして、「長い人生で、たとえ病や障害を抱えてもそれを受け止めて、人の力も借りながら充実した毎日を生きる。これを健康寿命と考えていいのではないか」と話した。確かに、病を抱えていても充実した人生を送っている高齢者は多い。

日本の現在の高齢者の多くは、戦後の復興に尽くした世代、高度成長を支えてきた世代であり、今日ある国づくりに貢献してきた人たちだ。このような高齢者に対する福祉の受け皿が充実した国こそ、「成熟国家」と言えるのではなからうか。少子高齢化で難しい時代を迎えている中で、国の**c**の在り方が問われている。

くりかえしになるが、健康とは充実した時を送るために大切なものの一つだ。だが、健康そのものを必要以上に重視し、健康を目的化・目標化してしまう異常ともいえる健康ブームが続いている。

私たちは、豊かで便利である一方で、何かに追われるような時間切迫感に満ちた時代を生きている。「手間暇をかけて健康になる」という**d**は敬遠され、「手っ取り早く健康になる」手法が求められがちだ。「みるみる痩せる」「みるみる治る」「○○に悩む人は、これで解決」といった宣伝文句も踊っている。

「まやかし」に流されずに、よりよい人生を送るための健康を大切にしたい。長い人生を健康に生きるためには、しっかりとした人生観と気力が大切ではないかと改めて思っている。

(飯島裕一『老化と寿命の謎』より)

【1】 二重傍線部(1)～(5)のカタカナと同じ漢字を書くものを、次のそれぞれの選択肢①～⑤の傍線部分から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問1～5】

1 (1) ユウハツ

- ① ヨユウのある態度で話し合う。
- ② 水害から身を守るため一刻もユウヨせず避難すべきだ。
- ③ 横浜に企業をユウチする。
- ④ そんなユウチヨウなことは言っていられない。
- ⑤ 二種類の金属をユウゴウする。

2 (2) スイシヨウ

- ① 店の改装をリョウシヨウする。
- ② 開校記念式典にシヨウタイする。
- ③ 運動会の徒競走でニュウシヨウした。
- ④ 本学の卒業をシヨウメイする。
- ⑤ 適度な運動をシヨウレイする。

3 (3) タズサわる

- ① 生命についてケイトウ的に研究する。
- ② 住民と行政とがレンケイして災害を防ぐ。
- ③ 明治時代から続く会社をケイエイする。
- ④ 自然のオンケイを受けて作物を育てる。
- ⑤ 伝統工芸品を作る事業をケイシヨウする。

4 (4) シュウロウ

- ① 入院患者のシュウシン時間に病棟を巡回する。
- ② 友人との関係をシュウフクする。
- ③ 民族によってフウシュウが異なる。
- ④ 縄文時代には木の実をサイシュウしていた。
- ⑤ 輸入品を倉庫にシュウノウする。

5 (5) ススメた

- ① 優勝してカンキの声をあげる。
- ② 街頭で人々の行動をカンサツする。
- ③ 社長の出処シンタイは自ら決める。
- ④ カンゼン懲悪の説話を読む。
- ⑤ 地場産業のシンコウを図る。

【2】 傍線部 a 「出不精」の意味として最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問6】

6

- ① いつも遠慮がちでいること。
- ② 外出をしたがらないこと。
- ③ 目立たないようにすること。
- ④ 他人と付き合わないこと。
- ⑤ 人前でも出しゃばらないこと。

また、同書では、二〇〇二年に、静岡県掛川市で開催された「スローライフ月間 in 掛川」の最終日に開かれたシンポジウムでスローライフを実践するための「宣言」がなされたことを紹介し、その「宣言」は、「その後が続いたさまざまな試みが目指したものの「原型」を示していると述べている。その「宣言」で掲げた七つの分野は次の通りである。

- (1)「スローペース」——歩行文化で健康を増進し、交通事故をなくす。
- (2)「スローウエア」——伝統織物、染め物、和服、浴衣などを大事にする。
- (3)「スローフード」——和食、茶道などの食文化と地域の食材を楽しむ。
- (4)「スローハウス」——百年、二百年もつ木と竹と紙の家を尊び、ものを長持ちさせ、自然環境を守る。
- (5)「スローインダストリー」——森林を大切に、手間ひまかけて循環型農業を営み、市民農園やグリーンツーリズムを普及する。
- (6)「スローエデュケーション」——学歴社会をやめ、生涯、芸術文化や趣味・スポーツに親しみ、子どもに温かく声をかける社会をつくる。
- (7)「スローエイジング」——美しく加齢し、人生の終生自立をめざす。

以上の考え方に照らして、次の選択肢①～⑤の事例の中で、「スローライフ」にあてはまらないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問7】

- ①自分が住む町に昔からある七福神を、自分の体調に合わせて徒歩で訪れ、七福神の世話をしている地域の人たちの話を聞いたり、地域の歴史を学んだりしながら経巡ること。
- ②週一回程度、地元で収穫される食材を近隣の農家から購入してきて、自分の家で食べる量だけを調理し、時間をかけてじっくり味わって食事を楽しむこと。
- ③世界各地の世界遺産をめぐる旅行会社が企画したツアーに参加して、各世界遺産の前で写真を撮っては次々と移動し、五日間で二十箇所を訪れる旅をすること。
- ④毎月一回程度、中学校や高校の同窓生と、出入り自由で集まり、バンドを組んで、それぞれが好きな音楽を、時間が経つのも忘れて演奏して楽しむこと。
- ⑤市内に残っている里山の木々を間伐したり、下草を刈ったりして森林環境を守る手伝いをしながら、その間伐材で動物の人形を彫って近隣の子どもたちと遊ぶこと。

【4】空欄cには、「ものごとの進行、集団の行動などを一定の方向に導くこと」という意味の語句が入ります。最も適当な語句を次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問8】

- ①段取り
- ②舵取り
- ③見取り
- ④地取り
- ⑤先取り

【5】空欄dに入る語句として文脈上最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問9】

- ①執念深さ
- ②計算高さ
- ③用心深さ
- ④回りくどさ
- ⑤粘りづよさ

【6】 空欄Aには、日本人の平均寿命を、明治時代と現代との比較をした語句が入ります。次の厚生労働省の統計資料を踏まえて、最も近い比率を表している語句を、後の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問10】

〈資料〉

厚生労働省発表「完全生命表」による		
明治24年～31年	男性	42・8歳
	女性	44・3歳



厚生労働省発表「簡易生命表」による（本文中で引用している資料）		
令和元年（2019年）	男性	81・41歳
	女性	87・45歳

【10】（選択肢）・・・①ほぼ横ばい

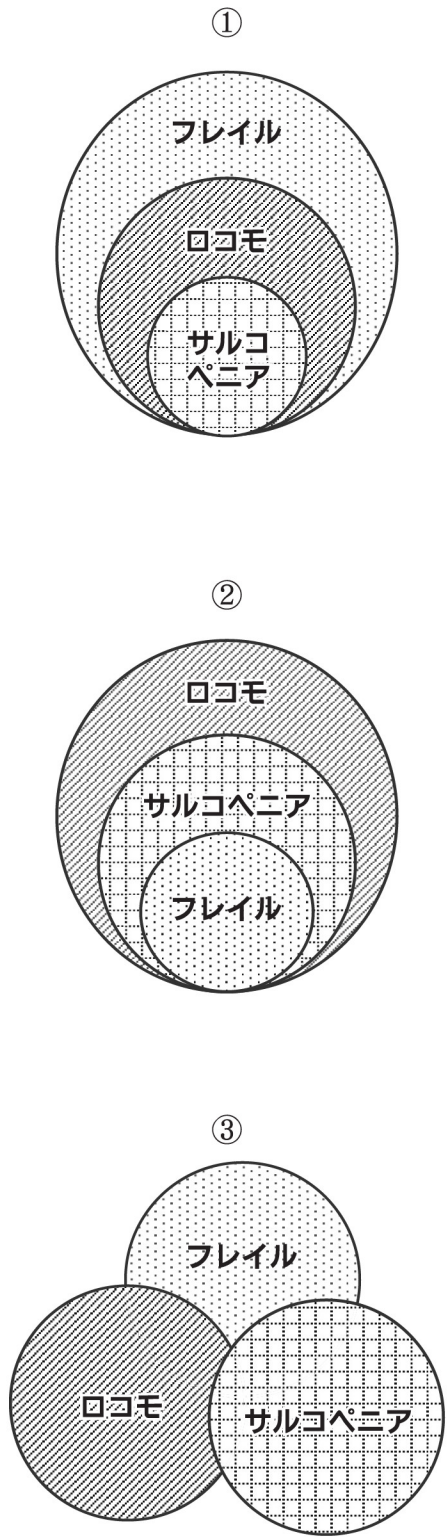
②ほぼ2割増

③ほぼ3割増

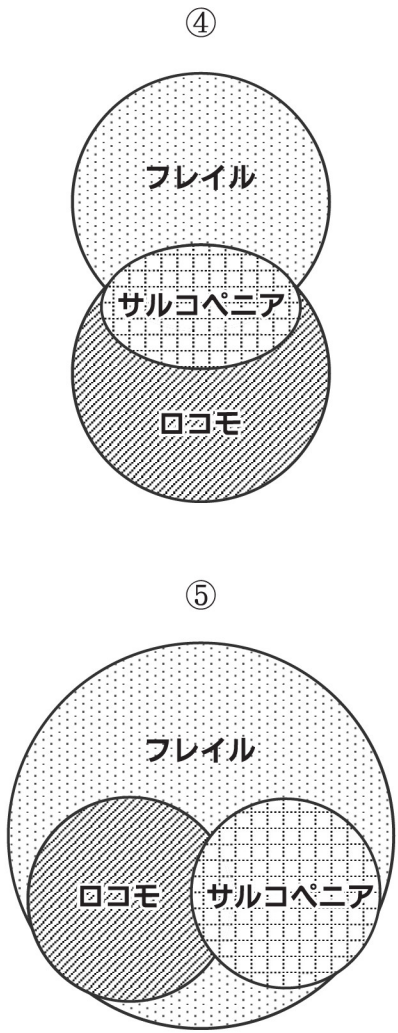
④ほぼ1・5倍

⑤ほぼ倍

【7】 波線部B「三者の関係」を図示したものととして最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問11】



【11】



【8】 波線部C「フレイル予防の柱は、運動、栄養、社会参加だ」とありますが、次の小問(1)、(2)に答えなさい。

小問(1) 「運動」と「栄養」の面で、筆者が「フレイル予防」の方策として述べていないものを、次の選択肢①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問12】

①筋力の低下を防ぐために、タンパク質不足に注意し、主食・主菜・副菜をバランスよく食べることが大切だ。

②毎日徒歩で買い物に行ったり掃除をしたりなど、生活の中でこまめに体を動かすように努めることが大切だ。

③部屋の中で転倒に注意しながら、椅子につかまって、かかとを上げ下げしたり片脚立ちをしたりするとよい。

④ウォーキング、水中運動などの運動を、一人ひとりの状態に合わせて、無理をせずに続けることが効果的だ。

⑤高齢者の体重の増加は膝や腰に負担がかかり、骨折しやすくなるので、太りすぎない食生活に努めるべきだ。

【12】

小問② 「社会参加」の面で、筆者が述べている留意点として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問13】

- ① 高齢者には友人や隣人との交流が最も大切であるので、できる限り地域の会合には参加するように努めるべきだ。
- ② 仕事や家庭状況の変化などにより心の不調を来しやすいが、認知症とうつ病は似ているので専門的鑑別が必要だ。
- ③ ボランティア活動や学習活動など、生活に余裕が生まれたことで可能になった新たな社会参加の場に挑むべきだ。
- ④ 高齢者は孤独感からアルコール依存症に陥りやすいが、そのときには、断酒をするという強い意志を持つべきだ。
- ⑤ 最も有効な社会参加の方策は仕事を続けることで、短時間でも働くことで社会とのつながりを持つことが必要だ。

13

【9】 波線部D「長野県の数字も全国順位も両者では大きく異なり」とありますが、厚生労働省と国民健康保険中央会のデータが異なる要因の説明として最も妥当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢中では、「厚生労働省」は「厚労省」、「国民健康保険中央会」は「中央会」と略記

します。【解答欄は問14】

- ① 厚労省のデータはアンケート調査によるので、健康上の問題が日常生活に影響があると意識している県民の比率が高いことがわかる。一方、中央会のデータから要介護2以上の認定者の比率が全国と比べて低いという実態がわかる。つまり、長野県民の健康に対する意識の高さと介護を要する人の割合が低いという実態の差が順位に反映していると考えられる。
- ② 国民へのアンケート調査の結果である厚労省のデータに対し、中央会のデータは要介護2以上の認定を受けている人の割合である。したがって、各自治体が介護保険の申請を積極的に推進している場合は比率が高くなり、「健康寿命」の順位は低下する。つまり、長野県では介護認定の申請が控えられていることが、順位の違いに表れていると考えられる。
- ③ 要介護2の認定者の割合から導き出される中央会のデータに対して、厚労省のデータは国民へのアンケート調査である。したがって、回答をした人の主観が大きく影響していると考えられる。つまり、実際には日常生活への影響がある健康上の問題を抱えていてもアンケートではそれを隠して回答する人が多い都道府県が順位の上位に位置していると考えられる。
- ④ 中央会のデータは要介護2以上の認定を受けた人の割合から導き出されていることから、要介護の認定基準が厳しい自治体のほうが順位が高くなると考えられる。したがって、長野県の自治体は他の都道府県の自治体に比べて、要介護の認定基準が厳しいため、順位が高くなっていると考えられる。
- ⑤ 厚労省のデータは国民一人ひとりへのアンケート調査の結果から導き出している。そのため、健康状態を総合的に把握できる方法と考えられる。一方で中央会のデータは要介護2以上の認定を受けている人の割合から導き出されているため、介護以外の要素は反映しないと考えられる。つまり長野県民は介護以外の健康上の問題を持つ人が多いと考えられる。

14

【10】 「健康寿命」に対する筆者の考えを説明したものととして最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問15】

- 15
- ① 人々の価値観などで変わる相対的な指標であり、社会が「健康」と認める心身の状態を保つ年齢のこと。
 - ② 病気があってもそれをもととせず生きていこうという強い意志を保つことができる状態の期間である。
 - ③ 心身ともに健康で、一切支障なく日常生活を送ることができる状態のみを「健康寿命」と考えるべきだ。
 - ④ 病や障害を抱えても、人の支援を受けながら充実した人生を送る状態も含めて「健康寿命」と考えてよい。
 - ⑤ 一人ひとりの身体の状態や心の持ちようによって変わるものであり、本人がそう思えば「健康寿命」だ。

【11】 筆者が本文で述べていることと合致しないものを、次の選択肢①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問16】

- 16
- ① 健康寿命を延ばすためには、心身が全般的に衰えてはいるものの回復可能な段階であるフレイルへの対応が鍵を握る。
 - ② 増加する高齢者の医療費の負担を若年層に押しつけないよう、高齢者自身が健康寿命の維持に努めなければならぬ。
 - ③ 健康自体を目的として、宣伝文句に乗せられ、体型の維持に腐心したり、目の色を変えて運動したりする必要はない。
 - ④ 新型コロナウイルス感染症を機に注目された免疫力を高めるためには、適度な運動やストレスを減らすことを心掛けるとよい。
 - ⑤ 平均寿命が男女ともに八十歳を超えた今日、しっかりとした人生観と気力を大切にして、長い人生を健康に生きたい。

二次の【甲】と【乙】の文章を読んで、後の【1】～【13】の問いに答えなさい。なお、作問の都合上、一部省略し、また一部の表記を改めています。

甲

乙 前の文章を読んだAさんは、子どもがどのように言葉を習得するのか関心を抱き、次の文章を読みました。

子どもが新しい語を覚えるとき、当然いちいち辞書をひくわけではないですよ。親に意味をタズねることもあるけど、たいていは実際にそのことばが使われている状況を経験しながら自然に吸収していくものです。がある単語の意味の範囲がどこからどこまでか、今どうもこの語が指しているらしい状況や対象のどの部分や側面を切り取っているのかを、どうやって正確に把握し、整理するのでしょうか。

*1 右の例は、「いきなり正確には無理」ということを示しています。

ひとつの語はいろんな意味の成分からなっています。その語の使い方に触れながら、余分な成分をとりのぞいたり、新たな成分を追加したり、そうしていつか大人が持っている成分の配合に近づいていくのですね。

お母さんにだっこされて赤ちゃんがお散歩していたら、犬が通りました。コウフン⁽²⁾して指差しする赤ちゃんに、お母さんは「ワンワンだね」と教えてあげます。それ以来、その赤ちゃんは、

- ・猫を見てもワンワンとよんでいる^F
 - ・牛も馬も四つ足で動くものはすべてワンワンとよぶようになった^G
 - ・動く自動車もワンワンとよんでいた^H
- というような報告が巷に溢れています。^b

このような例を、過剰一般化、あるいはこうした語の意味に関する場合はもう少し厳密にいうと「過剰拡張」とよびます。

あなたに、飼っている犬がいるとします。その子を指し示すことができる表現はたくさんあります。「ポチ(名前)」「柴犬」「犬」「動物」「生き物」。先にあげた表現ほど特定の度合いが高く、後のほうの表現ほど、大きなカテゴリー^cとなつていきます。

大人はそれぞれの語が示しうるカテゴリーや、カテゴリー同士の上下関係(たとえば、「動物」は「犬」の上位カテゴリー)について了解していますし、どういう状況でうちの犬のことを話題にしたいのかによって、適切な表現を使い分けることができます。ですが、いつからそれができるようになったのでしょうか。

そもそも、同じものを指すこともあるけど、それぞれ守備範囲の異なる表現がたくさんあって、今あなたが聞いた語はそのうちのどれにあたるのだよ、という説明を子どもは普通受けることがないはず。だから、大人としては「ワンワン」ということばで「犬」という動物カテゴリーを意図したとしても、子どもにしてみたら「動物全般」「動くもの全般」と捉えてしまったとしても仕方ないですよ。

子どもにとって、どういうときに、「ワンワン」とは特定のタイプの動物だけを指すらしい、ということを知りかけになるのでしょうか。次の日のお散歩でこんどは猫に出会って、お母さんに「あ、ニャーニャだね」と教えてもらったら、「ワンワン」というのはこっちの動物は指さないらしい」とわかってくれるのかしら。ならば、動物園にでもいったら⁽³⁾「キョ」に解決するのかしら。

(途中略)

さて、子どもが新しい語を聞いて最初に想定した意味の範囲が本当は間違っていて、その語が実際に示す意味範囲よりも広すぎる、もしくは狭すぎる場合、^Iどのようなきっかけからそれらを「正しい範囲」に修正していくのでしょうか。

犬に出会ったときに大人が「あれはワンワンよ」というのを聞いて、「ワンワン」という呼称が犬だけでなく四つ足の動物全体だと解釈している子が、今度は猫に出会ってそれを大人が「ニャーニャだね」というのを聞いたらどうなるだろう、と先ほど書きました。もしかししたら、その子が最初に設定していた「ワンワン」の意味が再検討されるかもしれません。少なくとも猫は除く、といったふうには。

子どもは、大人からの働きかけを一方的に覚え込むのではなく、すでに頭の中に格納した知識内容との微調整を行っ

て、語彙の知識を豊かでより正確なものにしていくのですね。

(広瀬友紀『ちいさい言語学者の冒険』より)

注・*1「右の例」・出典では、この前の部分に、3歳児が「はずかしい」という語を、「面白い」や「笑っちゃう」という意味で使っている例、「ややこしい」という語を「面倒くさい」の意味で使っている例を述べています。

*2「その語が実際に示す意味範囲よりも」狭すぎる」・例えば「おでん」を「串に刺している三角・四角・丸」のものに限定して捉えている場合のように、本来の意味範囲よりも限定的な意味で認識している場合もあると、省略している部分で述べています。

【1】 空欄Ⅰ・Ⅱに入る擬態語として最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をそれぞれマークしなさい。【解答欄は、Ⅰは問17、Ⅱは問18】

- | | | | | | | |
|----------|----------|------|------|------|------|------|
| Ⅰ・
Ⅱ・ | 17
18 | ①ムツと | ②ジツと | ③ハツと | ④パツと | ⑤ピンと |
|----------|----------|------|------|------|------|------|

【2】 空欄X・Yに入る接続の語句として最も適当な語を、次のそれぞれの選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は、問19、20】

- | | | | | | | |
|----------|----------|-------|-------|--------|-------|------|
| X・
Y・ | 19
20 | ①なぜなら | ②しかし | ③したがって | ④また | ⑤そこで |
| | | ①だから | ②けれども | ③そのうえ | ④あるいは | ⑤ただし |

【3】 傍線部a「うのみにする」の意味として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は、問21】

- | | |
|----|------------------------------------|
| 21 | ①世間の人の言うことを全く気に留めることなく、さらりと受け流すこと。 |
| | ②あることばを、前後の文脈を無視して辞書的な意味だけで理解すること。 |
| | ③ものごとを、その根源にまで遡って調べ、本来の意味のまま捉えること。 |
| | ④他人の言葉をそのまま丸暗記して、いろいろな場で繰り返し唱えること。 |
| | ⑤十分に理解したり、真偽を確かめたりせずに、そのまま受け入れること。 |

【4】 傍線部b「巷に溢れてい(る)」の意味として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は、問22】

- | | |
|----|-------------------|
| 22 | ①国中の人々に大流行していること。 |
| | ②世間で広くささやかれていること。 |
| | ③世の中に非常にたくさんあること。 |
| | ④世界の諸都市に伝わっていること。 |
| | ⑤道の分岐点に人が溢れていること。 |

【5】 二重傍線部(1)と(3)のカタカナと同じ漢字を書くものを、次のそれぞれの選択肢①と⑤の傍線部分から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問23と25】

23 (1) タズ^{||}ねる

- ① フシ[|]んな人物が町の中をうろついている。
- ② 高齢者の家をホウ[|]モンする。
- ③ 行方不明者をソウ[|]サクする。
- ④ 彼の力はジン[|]ジョウではない。
- ⑤ 相手の正体をバク[|]ロする。

24 (2) コウ^{||}フン

- ① マグマが頂上からフ[|]キ出している。
- ② 寂しさをマ[|]ギらわしている入院患者。
- ③ 性能試験の不正行為にイ[|]キドオる。
- ④ 低温で体力がどん[|]どんウ[|]バわれる。
- ⑤ 決勝戦の前に、選手達がフル[|]イ立つ。

25 (3) イッ^{||}キョ

- ① 隣町に災害支援のキ[|]ョテンを置く。
- ② 遠キ[|]ョリ通勤をしている社員。
- ③ キ[|]ョドウ不審の人物を警戒する。
- ④ 県外からテン[|]キョしてきた人。
- ⑤ 一年前の大地震が脳裡にキ[|]ョライする。

【6】 傍線部c「カテゴリー」の本文における意味として最も適当なものを、次の選択肢①と⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問26】

26

- ① ものごとを抽象的に捉えた意味内容。
- ② 同じ性質のものが属する領域、枠組み。
- ③ ある存在を一視点から捉えた言語表現。
- ④ 人間の理性がつくり出した虚構の世界。
- ⑤ 世界中の存在をつなぎ合わせる手段。

【7】 波線部A「お兄ちゃんが、妹^{||}」だったとき」とありますが、この「妹」の使い方を、**乙**の文章の考え方によって説明した文として最も適当なものを、次の選択肢①と⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問27】

27

- ① 「妹」という語は、「お兄ちゃん」という語が属しているカテゴリーよりも下位のカテゴリーに属する語だと考えている。
- ② 家族の中で一番小さい自分が「妹」と呼ばれているために、「小さい子」のことを「妹」と言うこと「過剰拡張」している。
- ③ 「妹」という語は、「お兄ちゃん」や「赤ちゃん」という語よりも狭い範囲の意味を表す語にちがいないと考えている。
- ④ 「お兄ちゃん」という語と「妹」という語を組み合わせることで、頭の中の知識内容と微調整を行っている。
- ⑤ 「妹」という語が持つ意味の成分に「お兄ちゃん」という語が持つ意味の成分を追加して使えるかどうかを確かめている。

【8】波線部B「私は「いいなあ！」と感心してしまいました」とありますが、「私」がこのように思った理由の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問28】

- ①自分がいつも呼ばれている「妹」という言葉の意味を、自分の実感を通して見つけ出し、自分の言葉として発した娘の思いが伝わってきたから。
- ②五歳の子どもなりに「妹」という言葉の意味を一生懸命考えて、母親に話しかけてきたことばの間違いが、いかにも子どもらしくかわいかったから。
- ③「お兄ちゃんが妹だったとき」という非日常的な語と語の結びつきが、かえって新鮮で、新しい言葉を創造する才能を娘に感じ取ったから。
- ④大人には決して思い付かない想像力のたくましさに驚嘆し、作家である自分も、子どもの頃の力をもう一度取り戻したいと思わされたから。
- ⑤「下の組の妹たち」という表現など、保育園での体験やコミュニケーションを通して、娘のことばの力が発達してきていることを実感したから。

28

【9】波線部C「それって、ちょっともったいないな、と思うようになりました」とありますが、「私」がこのように思った理由の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問29】

- ①インターネットで調べてしまうと、親子が一緒に言葉の意味を考えて対話する時間がなくなってしまうから。
- ②分からない言葉の意味を誤って用いる体験ができなくなるために、失敗から学ぶ機会を逃がしてしまいうから。
- ③インターネットを適切に活用するために必要な情報リテラシーを身につける絶好のチャンスとなりうるから。
- ④一生懸命想像して言葉の意味を見つけようとするのが、言葉の意味を実感として理解する基盤となるから。
- ⑤自分で考えた意味とインターネットが提示する意味との差異を検証して修正する機会が失われてしまいうから。

29

【10】波線部D「かえって、たくさん言葉を実感として自分が理解していることが必要になってきます。」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問30】

- ①実感をもって理解している語彙が豊富にあることによって、芸術作品を創造する活力がよりいっそう漲ってくるから。
- ②たくさんさんの言葉を理解していることによって、さまざまな読者や観客が共感できる、リアルな表現が可能になるから。
- ③言葉に頼らない芸術表現技法を磨くためには、まず言葉によってあらゆる事象や人間像を描くことが必要となるから。
- ④多くの言葉の意味を実感として理解していることが、自分の伝えたいことをわかりやすく表現するために必要だから。
- ⑤言葉の意味を実感として理解することによって、はじめて言葉ではない手段を用いて想像することが可能になるから。

30

【11】波線部E～Hの「ワンワン」について、**乙**の文中にある内容を踏まえた説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問31】

- ① Eは散歩しているその犬を、Fは家で飼われているペットを、GとHは動くもの全般を指し示している。
- ② EとFは自分より小さい動くもの全般を、GとHは自分より大きい動くもの全てを指し示している。
- ③ Eは「犬」という動物カテゴリーを、FとGは四つ足の動物全般を、Hは動くもの全般を指し示している。
- ④ E、F、Gは生きている動くもの全体を、Hは機械も含めて動くもの全てを指し示している。
- ⑤ Eは路上を歩いている特定の犬を、FとGは家畜動物全般を、そしてHは動くもの全般を指し示している。

【12】波線部I「どのようなきっかけからそれらを「正しい範囲」に修正していくのでしょうか。」とありますが、この問題提起に対する解答として、**乙**の文章で述べていることから考えられる最も妥当な仮説を、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問32】

- ① 子どもが誤った使い方をするたびに、そばにいる大人が誤りを指摘して正しい使い方を教える経験を積み重ねていくことによって、「正しい意味の範囲」を確定していく。
- ② 子どもが最初に設定していた意味とは異なる語を大人が用いたときに、最初に設定していた意味を頭の中で微調整する経験を繰り返すことを通じて、「正しい範囲」に修正していく。
- ③ 自分の誤りに気づいた子どもが、自発的に動物図鑑や生物図鑑などの学習資料を調べたり、動物園に行つて確認したりすることを通して、「正しい意味」を獲得していく。
- ④ 日常生活の中で、日々出会う対象や事象について周りの大人たちがどのような言葉を用いているのかを継続的に観察し続ける体験を通して、「正しい意味の範囲」に修正していく。
- ⑤ 何も特別なことをしなくても、普通に日常生活を送っていくことによって、自ずと知識や思考力が高まり、一定の年齢に達すれば誰でも「正しい意味の範囲」を習得している。

32

【13】**甲**と**乙**の文章を読んだ人が、各自の読後感を語っています。次の選択肢①～⑤の中で、誤解している感想を一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問33】

- ① 言葉の意味を理解するうえで、実感を通して言葉を受け止めることが大切なのだ気づかされたわ。小さい頃から、公園で遊んだり、町中を散歩したりして、子どもが何かに出会うたびに語りかけるようにしようと思ったの。
- ② 私も三歳と零歳の子どもがいるけれど、子どもが勝手な解釈をして誤った言葉の使い方をしないように、最初から「犬」は「イヌ」、「猫」は「ネコ」と、正確な言葉を写真といっしょに子どもに示して教えるべきだとわかったわ。
- ③ 子どもが間違った言葉遣いをして、頭ごなしに叱りつけたりせずに、辻村さんのように、子どもの気持ちを汲み取って子どもと対話することが大事なのだとな身に染みて感じたわ。
- ④ 私はこれまで子どもに「この言葉の意味は何。」と聞かれると、すぐに辞書を見せて意味を教えているのだけれど、辻村さんの接し方を読んで、これからは「どんな時にどの言葉を聞いたの？」と聞いてみようと思った。
- ⑤ 子どもたちは、家庭だけでなく、保育園や地域の中で、たくさん言葉を聞いて、そのつど自分なりにそれまでの知識を総動員して一生懸命考えて、少しずつ正しい意味の言葉を身につけていくのだなあ、子どもの力に感心しました。

33